

2017年度 出雲医療生活協同組合 生協法人になって10周年!

医療・介護・保健を組合員が支える医療生協。おかげさまで10年目を迎えます。

出雲医療生協の在宅診療の拠点・大曲診療所
第1弾 「地域の誰もがその人らしく、
幸せに暮らせるようにとりくみます!」



藤原悠子 所長

■家庭医とは?

家庭医 (family doctor) という言葉をはじめて聞く方も多いかと思います。「先生の専門は何ですか?」と聞かれたら「あなたの専門医です」と答える家庭医もいます。つまり、地域に根ざしたあなたや家族の「かかりつけ医」です。

欧米やアジアの多くの国では、国民のすべてがかかりつけの家庭医を持っています。医療生協を目指してきた地域医療の精神は、家庭医の行う家庭医療に非常に近い考え方です。日本では長年、臓器別に専門分化する医学教育の中で見えていた存在となっていましたが、最近急速にその価値が見直され、専門教育を行う大学や研修機関も増えています。

外来診療

- 休診日：日曜、祝日
- 診療科目：内科（月曜～土曜）、小児科（金曜夜間、土曜）

	月	火	水	木	金	土
午前診療	○	○	○	○	○	○
午後は往診です	-	-	-	-	-	-
夜間診療	-	-	-	-	○	-

健診・予防診療

- 特定健診：期間内であれば、外来診療時間帯でいつでも健診可能です。
毎年7月～9月末まで（翌3月まで健診可能）
- 企業健診：予約制となりますので、まずはお電話ください。
- 一般健診：外来診療時間内で、随時受け付けております。
- 予防接種：予約制となりますので、まずはお電話ください。



2017年度は出雲医療生協が、医療法人から生活協同組合の法人に転換して10年目となります。そのため、「周年」を記念した取り組みを進めようと考えています。その一環で、私たちの事業所の活動をシリーズで紹介したいと思います。ぜひお楽しみください。

訪問診療

24時間365日医療的支援を行います。安心して在宅でお過ごしいただけるよう、複数医師がグループで診療しています。

月2回の定期訪問診療

原則として月2回以上、あらかじめ計画した日にちに医師・看護師がご自宅へ訪問して診療をいたします。

幅広く対応・他機関との連携

おひとりでの通院が困難で訪問診療を希望される方の様々な状況に対応いたします。病院での処置や入院が必要な場合は適切にご紹介いたします。

すこやかNEXT

2017年
2月すこやか増刊号
発行
出雲医療生活協同組合
〒693-0021
出雲市塙治町1536-1
TEL (0853) 21-2735
ホームページ
www.izumo-hewcoop.jp

通所リハビリテーション

通所リハビリテーションでは、祝日を除く月曜日から土曜日まで毎日25名前後の利用者様に通っています。

看護師2名、介護福祉士2名、介護員4名、理学療法士2名、作業療法士1名の職員が、リハビリ

や体操、手作業やレクリエーション、季節の行事などを通して、利用者様に満足して通っていただけます。

また、最近では、職員だけでなく地域のボランティアさんや保育園児さんなどの交流なども楽しんでいただいている。

職員は、利用者の皆様との交流をさせていたたまく中で元気をいただきながら頑張っています。これからも利用者様の住み慣れた家の生活のお手伝いが出来るよう、利用者様と一緒に頑張りますので宜しくお願ひいたします。

**出雲看護サービスセンター**

看護師などがお住まいを訪問し、看護等を行うサービスです。

かかりつけ医と連携を取りながら、安心して日常生活が送れるよう支援します。

看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が訪問します。

【連絡先】 島根県出雲市大津町1941（大曲診療所内）
●電話番号：0853-22-3099

お知り合いの医学生の方に、奨学金制度を紹介願います。

出雲市民病院、出雲市民リハビリテーション病院、大曲診療所は島根県民主医療機関連合会（以下、島根民医連）に加盟している医療機関です。

島根民医連では、医学部医学科卒業後、島根民医連の医療に参加される意思をもった医学生のみさんに、奨学の経済的な援助を行う目的で奨学金制度を設けています。

お知り合いに医学生、または医学部入学予定の方がおられましたら、島根民医連の奨学金制度について紹介いただけますようお願いします。

◆奨学金の支給額

- Aコース 10万円／月
- Bコース 15万円／月

◆返済免除規程

（島根民医連の事業所で勤務された場合は返済免除）

- Aコース：奨学金を借りた期間×1.5倍
- Bコース：奨学金を借りた期間×1.5倍

奨学金制度のお問い合わせ先 岩成（TEL：0852-31-3360）
または出雲市民病院 医学生担当 足立（TEL：0853-21-2722）

**訪問リハビリテーション**

訪問リハビリは平成19年から事業を始め、28年の1月から10年目になりました。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士といった病院ではおなじみの療法士（現在登録7名）がご自宅へ訪問して、困られている日常の生活動作に対して支援をしています。

“きつい”“苦しい”といったいわゆる訓練的な内容ではなく、食事・トイレ・入浴などの動作練習を中心に、起きる・座る・立つ・歩くといった基本的な動きの練習、自主練習の指導などを行っています。また歩行器などの福祉用具、手すりなどの住宅改修に関するアドバイスも相談しながら行っています。

この数年力を入れているのは出雲市民リハビリ病院入院中にリハビリを頑張られ、ご自宅へ退院され、その後から療法士が1～3ヶ月程度介入する「短期集中訪問リハビリ」というシステムです。同じ法人内でもあり入院中の様子もわかるため、不安のある退院後の生活動作や、途切れがちなリハビリに対する思いに応えることができ、徐々に利用数も増えています。

**通所リハビリの利用者のみなさまとクリスマス会**

昨年12月22日（木）大曲診療所にてクリスマス会を行いました。毎年恒例のように出雲一中合唱部の皆さんと大津保育園の年長さんが利用者さんの為に歌などを披露し交流してください。

出雲一中の浜崎教諭の指揮に合わせ合唱部の皆さんと「リンゴの歌」「青い山脈」を歌った利用者さんのイキイキとした表情がとても印象的でした。また、大津保育園の園児の皆さんも見せてくれた“側転”には「上手だね」「すごいね」と、目を細めながら拍手を送っていました。後の茶話会では、園児の皆さんとケーキを食べながら職員と地域の方が扮装したサンタやミッキーマウスなどと記念撮影会も行われクリスマス会を楽しみました。

短時間ではありましたが心温まる時が過ごせました。
(大曲診療所 事業所利用委員会)